九州運輸局メールマガジン　平成 30 年 4 月 12 日　第 381 号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成 30 年 4 月 26 日（木）です。

■ 目 次

**１　現場リポート**
◆九州運輸局交通政策関係表彰式を開催
～地域公共交通と交通バリアフリーの優れた取組を表彰～
◆スター選手を夢見て、新たな一歩を踏み出す
～ボートレーサー養成所入所式挙行～

**２　お知らせ**
◆「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA 2018 」開催決定！
◆宮崎県で初！「宮崎ブーゲンビリア空港」手ぶら観光カウンターが新規認定されました。
◆春の交通安全運動　実施中

**３　運輸安全推進室だより　Vol1**
◆運輸安全マネジメント制度とは？
～事故を未然に防ぐには何をするべきか～

**４　九州運輸局ホームページアップ情報**
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

## ――― １　現場リポート ―――

◆九州運輸局交通政策関係表彰式を開催
～地域公共交通と交通バリアフリーの優れた取組を表彰～

◎九州運輸局では 3 月 28 日（水）に、福岡合同庁舎新館（福岡市博多区）にて、地域公共交通及び交通バリアフリーの各分野において優れた取組を行っている地域住民団体や自治体、交通事業者を招き、表彰式を執り行いました。

◇受賞者
＜地域公共交通部門＞
○「大野地区まめバス」の取組（長崎県佐世保市）
・大野地区交通対策協議会
・西肥自動車株式会社
・佐世保市
○「ふれあい交通」の取組（大分県大分市）
・大分市地域公共交通協議会
＜交通バリアフリー部門＞
・筑豊電気鉄道株式会社

・鹿児島市交通局
・熊本都市バス株式会社
・オーシャントランス株式会社

◇九州運輸局からのメッセージ
・地域公共交通の分野においては、本格的な高齢化社会を迎える中、バスや鉄道などの公共交通機関の役割が益々重要になる一方で、交通事業者を巡る経営環境は依然として厳しく、利用者に則した交通体系を皆でつくり上げていくことが求められている状況です。地域の公共交通が待ったなしの危機的状況にある中で、地域の移動手段の確保といった課題の解決に当たっては、行政や交通事業者のみならず、住民の方々も含めた全員が当事者であるという意識を共有して議論し、実践することが必要です。長崎県佐世保市の「大野地区まめバス」と大分県大分市の「ふれあい交通」は、ともに地域住民の方々も積極的に運行に参画し、使いやすい交通を創った実績を残しておられます。九州運輸局としましても、行政、交通事業者、住民の方が一体となってつくりあげられたこれらの取組を模範として、地域公共交通の活性化をすすめて参ります。
・交通バリアフリーの分野においては、日本が本格的な高齢化社会を迎えている今、高齢者や障がい者の方々をはじめ、あらゆる人達が生き生きとした日常生活を送り、また、多様な社会的活動に参加できる「共生社会」を実現することが求められております。今回、バリアフリー部門表彰の皆様は、利用するすべての方たちにとって乗りやすい車両や船舶を導入する「ハード面」におけるバリアフリーの推進、また、学生や従業員に対するバリアフリー教育活動を実施するなどの「ソフト面」での心のバリアフリーに取り組まれてきました。九州運輸局としましても、これらの取組を模範としながら交通バリアフリー化を推進して参ります。また、今回の表彰を契機として、社会全体で交通バリアフリーの機運が一層醸成されていくことを期待しております。

◇「九州運輸局交通政策関係表彰式」の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_381_1.pdf
---

◆スター選手を夢見て、新たな一歩を踏み出す
～ボートレーサー養成所入所式挙行～

◎平成30年4月5日（木）、「(一財)日本モーターボート競走会ボートレーサー養成所」(福岡県柳川市)において、選手養成員・審判員、検査員養成員の入所式が挙行され、養成員として、ボートレーサー、審判員、検査員になるための第一歩を踏み出しました。

◇九州運輸局からのメッセージ
・公営競技の一つである「ボートレース」の収益は、レースを主催する地方公共団体の学校施設の整備や、消防費など幅広く活用されています。
・九州運輸局では、「ボートレース」がさらにファンの心をつかみ、健全なレジャーとして発展するよう引き続き取組を進めます。

◇「ボートレーサー養成所入所式」の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_381_2.pdf

## ――― ２　お知らせ ―――――――――――――――――――――――――――――

◆「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA 2018 」開催決定！

九州運輸局は、６月１３日（水）に 船員の雇用促進のため「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」を開催し、船員教育機関（海上技術学校）、水産系高校の生徒や一般の求職者を対象に、企業説明（面接）会を実施します。企業説明（面接）会への参加を希望する海運事業者の申し込みを、４月２４日（火）から４月２７日（金）まで受け付けます。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00081.html

---

◆宮崎県で初！「宮崎ブーゲンビリア空港」手ぶら観光カウンターが新規認定されました。

国土交通省では、「手ぶら観光」サービスの拠点をわかりやすく明示するため、一定の条件を満たすカウンターを、共通ロゴマークの使用ができる「手ぶら観光」カウンターとして認定しています。

◇詳細は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00078.html

---

◆春の交通安全運動　実施中　守ろう！交通ルール。広げよう思いやりの輪。
平成 30 年 4 月 6 日（金曜日）から 15 日（日曜日）まで実施中です。

◇詳細は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/a_kouan.htm

## ――― ３　運輸安全推進室だより ―――――――――――――――――――

・事故は絶対になくならない、無くすことはできない。毎月の保険料等も含めた事故対策費用は必要経費？　と、もしも思われているのであれば、そこには安全を確保するために取り組む余地が十分にあるといえます。
・一旦事故が発生すればどれだけのリスクを負うことになるでしょうか。もちろん、自動車・鉄道・船舶・航空のモードによりその損害には大小ありますが、例えば、事故による流通の停止による損害、保険料、原状回復費、事故調査・取り調べ等に割く人的損害、もし、人身事故であればその補償と人の命を奪ってしまった後悔の念はとても量ることはできません。
・国土交通省では平成 18 年から「運輸安全マネジメント制度」を導入し、輸送の安全確保の取組について、「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」を策定しています。すでに取り組んでおられる事業者もおありかと思いますが、再確認の意味も含め、その手法等について、なるべくかみ砕いて紹介したいと考えています。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_381_3.pdf

## ――― ４　九州運輸局ホームページアップ情報 ―――――――――――

--- **◆報道発表** ---

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU

--- ◆お知らせ ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE

--- ◆更新情報 ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

/////// 編集部だより ////////////////////////////////////////////////////
新しい年度に入り、メールマガジン編集部もメンバーが入れ替わり、新コーナーの設立をという話が持ち上がりました。そこで、今年度は編集部員が運輸安全推進室のメンバーでもあることから、輸送の安全という観点で、「安全の確保」のための各種取組について紹介していくこととしました。１つでも活用いただければ幸いだと思っておりますので、おつきあいの程よろしくお願いいたします。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
////////////////////////////////////////////////////////////////////////

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312　Fax : 092-471-7192

---